



2026年5月26日

ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社

**初心者でも使える予測分析ツール「Prediction One」に
対話型 AI エージェント版を新たなラインナップとして追加
～先行してβ版の提供を2026年5月から開始～**

ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社（以下、「当社」）は、AI 予測分析ツール「Prediction One（プレディクション ワン）」において、対話型の AI エージェントが実務をナビゲートする「Prediction One（エージェント版）」を新たなラインナップとして追加します。これまでの「ツール操作」から AI エージェントとの「対話による共創」へ、誰もがデータを基にした意思決定が可能となる新しい分析体験を提供します。

また、先行して「Prediction One（エージェント版）」β版の提供を2026年5月から開始します。β版提供期間に得たお客様の声や使用感などを反映した本番環境版については、2026年度中にリリースを予定しています。

Prediction One

「Prediction One（エージェント版）」は、従来の「ツールを操作する」という体験から、「AI エージェントと共創する」という新しいユーザー体験へと進化しました。AI や予測分析の初心者の方がつまづきやすいポイント（初期データの作成からテーマ設定、具体的な次の作業指示まで）を AI エージェントがまるで「隣で寄り添う専門家」のようにチャットによる対話を通じて作業完了まで一貫してナビゲートします。

また、「だれもが使いこなせる操作性」を追求し、新たな UI を採用しました。

これらの機能拡充を行うことで、専門知識の有無に左右されず、誰もが自律的にビジネスの発展を支える予測分析を行うことを可能にします。

なお、今回新たに搭載する AI エージェントは、ソニーグループ株式会社におけるデータサイエンス技術の研究開発成果である予測分析技術を活用し、ユーザーの意図を汲み取りながら、テーマ設定からデータ準備までをナビゲートする独自開発の仕組みです。

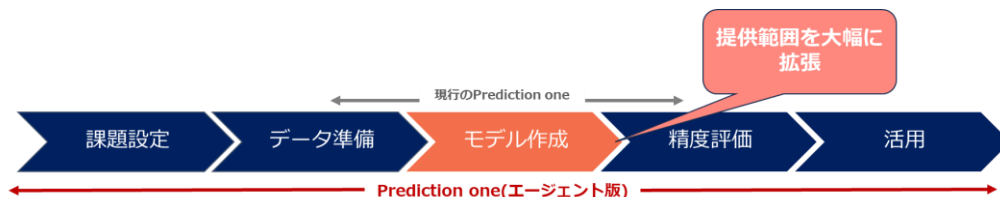
■ 「Prediction One (エージェント版)」 特徴

【AI エージェント機能】

① 「相談するように」 伴走する対話型 UX

「何を予測／分析すべきか」といったテーマ選定から、具体的な次の作業指示まで、チャット形式で AI エージェントが一貫してナビゲートします。

ユーザーに対し AI エージェントが能動的にヒアリングを行うことで、自動で予測テーマ等を整理・言語化します。専門知識が必要な最初のプロセスが「AI との会話」のみで完結するため、誰でも迷わず分析に着手できます。



② 根拠に基づく「AI の提案」で意思決定を支援

精度向上のためのデータ修正案や次にとるべき施策のヒントを AI エージェントが根拠を明示して提案します。これにより、ユーザーにとって納得感のある分析予測作業を実現します。

③ データの事前処理を AI が提案・代替

精度の高い予測分析結果を導くために必要なデータの結合や整形などの複雑な前処理を作業者に代わり AI エージェントが実行します。

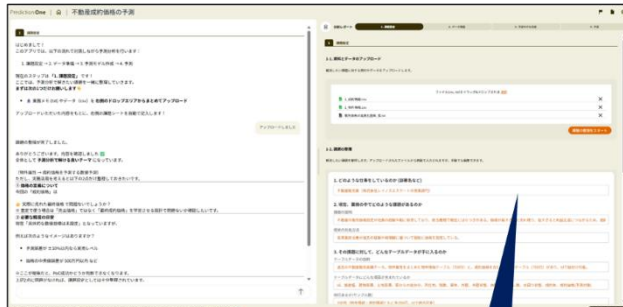
【AI エージェント機能に合わせた UI】

「Prediction One (エージェント版)」では、AI エージェントとの対話を通じて、作業開始から完了までを一画面で進められる UI を採用します。次に行うべき作業を AI エージェントが提示することで、ユーザーは画面遷移や操作手順に迷うことなく、テーマ設定、データ準備、予測分析、結果の確認までスムーズに進めることができます。

Prediction One (現行版)



Prediction One (エージェント版)



- AIに「相談」するだけで、分析の工程をリード
- 手元のデータを渡すと「何を予測すべきか」をAIがプランニング
- 手間の多いデータ準備をAIが代替

■ 開発背景

Prediction One は予測分析の初心者の方にもお使いいただける AI 予測分析ツールとして 2019 年にサービスを開始しました。

	Prediction One	他社 AI 予測分析ツール
ターゲット	予測分析をしたことがない初心者の方	データサイエンティストなどの専門職
機能	予測分析に特化	多機能
ユーザーインターフェース	クリック数の少ないシンプルで直感的な画面設計	プロ仕様の細かな画面設計
価格	機能が絞られているため安価	機能に応じて高価になる傾向

これまでサービスをご利用いただいたお客さまからご好評のお声をいただく一方で、特に AI や予測分析の初心者の方から様々な作業段階において「データ整理に時間がかかる」「モデル作成後、どう評価したら良いか分からない」などといったお声もいただいております。初心者ならではの悩みや躓きやすいポイントがあることが分かってきました。

また、市場全体における課題としても、生成 AI / 対話型 AI の業務活用が急速に拡大する一方、予測分析の現場では依然として「テーマ設定」「データ準備」「結果の解釈」といった専門知識の壁が残り、うまく使いこなせずに実運用や業務定着に至らないといった現状が浮き彫りになっています。

当社は、このような課題を解決し、AI や予測分析の初心者の方や過去に AI や分析ツールを導入したものの上手く使いこなせなかったといった経験のある方を支え、ビジネスや業務変革の成果が出るまで一貫してサポートできる AI 予測分析サービスを目指し、新たに AI エージェント版のラインナップの追加およびβ版の先行提供に至りました。

エージェント版によりサポート範囲を広げることで 予測業務を定着させるために時間やコストを短縮し、利用を促進



■ ユースケース

予測分析とは、蓄積された過去のデータから、将来の出来事や数値を予測する技術です。
業界・業種を問わず幅広い業務に活用することが可能です。

- ① 営業・販売：成約価格の予測と価格査定 の効率化
- ② マーケティング・企画：顧客行動予測による施策の最適化
- ③ 製造・サプライチェーン：需要予測による在庫・リソースの最適化
- ④ カスタマーサポート・管理：情報の自動分類による業務効率化

■ サービス概要

- β 版提供開始日：2026 年 5 月
- 提供価格：詳細はお問い合わせください。
- サービス受付窓口：<https://predictionone.sony.biz/contact/>
- サービスページ：<https://predictionone.sony.biz/v2/lp/>

※記載されている会社名および商品名、サービス名は各社の商標または登録商標です。

※こちらに記載されている情報は、発表日現在のものです。

以上